



## 食農教育の教材本を寄贈



JA相模原市とJA神奈川つくいは相模原市教育委員会を訪れ食農教育の教材本を寄贈しました。

この教材本は農林中央金庫の基金拠出を受けた、JAバンクアグリ・エコサポート基金が平成20年から子どもたちの食・環境と農業への理解を深めるきっかけとなることを願い「JAバンク食農教育応援事業」の一環として作成しています。

食農教育を基本に、毎日食べている食材の「食」がどのようにできるかを学び、農作業の過程や農産物が生産者から消費者に届くまでの流通経路などを総合的に学べる内容で構成。子どもたちが話し合いながら、自己の考えや理解を深められるようになっています。



教材を贈呈するJA相模原市職員(左)とJA神奈川つくい職員(右)

食品ロスや持続可能な農業に関する話題が掲載されているため、SDGsのテーマを農業の発展や新しい取り組みなどとひもづけて考えられるようになっています。冊子は市内55校の小学校に届けられました。



2 飢餓をゼロに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



12 つくる責任つかう責任

概要は  
[こちらを  
クリック](#)

